

高等小學校
第一二年用

日本歷史

上

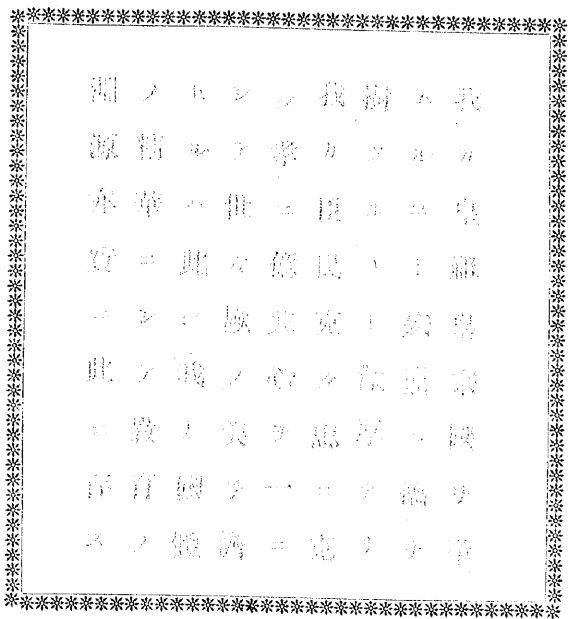
44
96

K120
51
1

K 120.2

51

1



高等小學校 第一二年用 日本歴史 上卷

二 大日本帝國

地理

我國ハ亞細亞洲ノ東部ニ位シ氣候温和ニシテ土地肥沃

國號

ナルコト萬國ニ勝レタリ

國體

我國ハ昔ヨリ豊葦原瑞穗國又倭國ト稱ヘ來リシガ後ニ

天皇旗

大日本國ト稱フルニ至レリ

國體

我國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治シ給ヒ世界ニ比類ナキ

國體ナリ

天皇旗

我國ノ國旗ハ日ノ丸ノ徽號ニシテ昔ヨリ天皇ノ御旗ニ

ハ日ノ丸ノ錦旗ヲ用非給ヒシガ今ハ菊章ヲ用非給ヘリ

風俗

我國ノ皇室ト臣民トハ父子ノ如ニクシテ臣民ハ忠孝ノ道ヲ以テ最モ重シトナシ風俗甚善良ナリ

〔三〕 天照大神 (伊勢大神宮)

伊弉諾尊
伊弉冉尊

大神ハ伊弉諾尊、伊弉冉尊ノ長女ナリ二尊國土ヲ開キ大神ヲシテ高天原ヲ治メシメ給フ

素盞鳴尊

大神ノ弟ニ素盞鳴尊アリ暴行ニシテ大神ノ妨ヲナシ給フニヨリ大神天岩戸ニ隠レ給ヒシカバ群神相議リテ大神ヲ出シ奉リ尊ヲ出雲國ニ流ス尊出雲ニ到リ賊ヲ討平

寶劍
大國主神

テ近國ヲ治メ給ヒレガ大神ノ命ヲ奉シテ國土ヲ獻シ給

天忍穗耳尊

尊ハ天照大神ノ子天忍穗耳尊ノ子ナリ大神ヨリ「日本天皇ノ位ハ天地ト共ニ窮リナシ」トノ詔ヲ受ケ三種ノ神器

高千穗峯

ヲ授ケラレ日向國高千穗峰ニ降リテ國土ヲ治メ給ヒシガ三代ヲ經テ神武天皇ニ至レリ

神代

我國ノ開ケシヨリ神武天皇即位以前ヲ神代ト稱フルナリ

三種神器
伊勢大神宮
熱田神宮

三種ノ神器ハ八咫鏡、叢雲劍、八坂瓊曲玉ニシテ鏡ハ伊勢神宮ニ祀リ劍ハ後ニ草薙ト稱ヘテ尾張熱田神宮ニ祀リ玉ハ宮城ノ内ニ祀リ給フナリ

〔三〕 瓊々杵尊

ヘリ

〔四〕 神武天皇

八皇

天皇ハ八皇第一代ノ天皇ナリ

天皇日向國ニ居給ヒシ時東國未治マラザリシヲ以テ天皇之ヲ平ゲント欲シ兵ヲ率ヒテ國ヲ發シ安藝、吉備、難波、ハ、ナ、紀國等ヲ經テ大和ニ入り長髓彦、土蜘蛛等ヲ討平ゲ宮ヲ

長髓彦
土蜘蛛

橿原宮

橿原ニ定メテ天皇ノ位ニ即キ海内ヲ治メ給ヘリ

紀元節

天皇即位ノ年ヲ紀元元年トス今明治廿六年ヲ去ルコト二千五百五十三年ナリ又即位ノ日ヲ紀元節トス今ノ二月十一日ナリ神武天皇祭ハ天皇崩御ノ日ニシテ今ノ四月三日ナリ

神武天皇祭

〔五〕 日本武尊

(大鳥神社 和泉國) 紀元七百年代

景行天皇

熊襲

尊ハ景行天皇ノ皇子ナリ天皇築紫ノ熊襲ヲ征伐シ六年ニシテ之ヲ平ゲ給ヒシニ其後又叛キシカハ尊ヲ遣シテ之ヲ征伐セシメ給ヘリ尊時ニ年十六女裝シテ賊將ヲ誅シ給フ賊將其武勇ニ服シ尊號ヲ奉レリ是ニ於テ熊襲悉ク平ゲリ

蝦夷

天皇更ニ尊ヲシテ東方ノ蝦夷ヲ征セシム尊伊勢ニ到リ

駿河ノ賊

寶劍ヲ受ケ進ミテ駿河ノ賊ヲ討テ海ニ航シテ上總ニ到

近江ノ賊

リ進ミテ陸奥ニ入り悉ク蝦夷ヲ平定シ歸途近江ノ怪賊ヲ討タントシ毒氣ヲ受ケテ遂ニ伊勢ニ薨シ給ヘリ

〔六〕

神功皇后

武内宿禰

(宇倍神社 因幡國) 紀元八百年代

仲哀天皇

仲哀天皇ノ時熊襲又叛ク天皇皇后ト共ニ之ヲ征シテ軍中ニ崩シ給ヘリ

三韓

皇后熊襲ノ強キハ三韓(今ノ朝鮮國)ノ後援ヲ爲セルニヨルヲ知り給ヒ武内宿禰等ト謀リ男装シテ親ラ新羅國ヲ征シ給ヒシカハ國王懼レテ出テ降ル高麗國百濟國モ亦降リ三韓悉ク服從シテ毎年調貢ヲ獻ゼリ皇后築紫ニ歸リテ皇子ヲ産ミ給フ之ヲ應神天皇トス

應神天皇

〔七〕

文學及工藝

紀元九百年代

王仁

菟道稚郎子

應神天皇ノ時百濟ノ博士王仁治工織工等ヲ率ヒテ來リ書物ヲ獻ズ皇太子菟道稚郎子王仁ヲ師トシテ學ヒ給ヘリ
是ヨリ文學工業大ニ興リテ我國ノ文化ヲ進メタリ

〔八〕

仁德天皇

紀元千年代

天皇民ヲ惠ミ給フコト最モ深ク高キ屋ニ登リテ民ノ靈ノ煙少ナキヲ見給ヒテ三年ノ間年貢ヲ免シ給ヒ其後民ノ富メルヲ喜ヒテ「民ノ富メルハ即朕ガ富メルナリ」ト仰セラレタリ

〔九〕

佛教

紀元一千二百年代

欽明天皇
蘇我氏
稻目
馬子
物部氏
尾興
守屋

聖德太子

蘇我氏
蝦夷
入鹿

欽明天皇ノ時百濟國ヨリ佛像ヲ獻ズ天皇之ヲ蘇我稻目ニ賜ヒシカバ稻目ハ其家ヲ寺トシテ之ヲ祭レリ此時疫病大ニ行ハレ物部尾興等「惡病ノ流行スルハ佛ヲ祭ルニヨリテ國神ノ怒リ給フニヨルナリ」ト奏ス天皇卽命シテ佛像ヲ捨テ寺ヲ燒カシム其後稻目ノ子馬子聖德太子ト謀リ尾興ノ子守屋ヲ攻メ滅シ遂ニ佛教ヲ弘ムルニ至レリ

二〇 天智天皇 中臣鎌足

(談山神社大和國) 紀元一千三百年代

蘇我馬子物部氏ヲ亡シテヨリ政權ヲ專ニシ其子蝦夷ト共ニ惡逆ヲ極メ蝦夷ノ子入鹿殆天位ヲ奪ハントスルニ

中大兄皇子

孝德天皇
年號

藤原氏
先祖

至レリ
此時中臣鎌足ト云フ忠臣アリ蘇我氏ヲ亡サント欲シ中大兄皇子ト心ヲ合セ遂ニ入鹿ヲ朝庭ニ誅シ兵ヲ遣シテ蝦夷ヲ攻メシム蝦夷家ヲ燒キテ自殺シ蘇我氏遂ニ亡ブ中大兄皇子ハ孝德天皇ノ皇太子トナリ鎌足ト共ニ天皇ヲ佐ケテ大ニ政ヲ改メ始メテ年號ヲ用ヒテ大化ト號ス後天皇ノ位ニ卽キ給フ卽天智天皇ナリ
鎌足ハ天智天皇ノ時内大臣トナリ藤原ノ姓ヲ賜ヒテ子孫繁榮セリ

二二 和氣清磨

(護王神社 山城國) 紀元一千四百年代

弓削道鏡

宇佐八幡宮

稱徳天皇深ク佛法ヲ信シ弓削道鏡ヲ寵シテ法皇トナシ給ヘリ道鏡威權ヲ恣ニシ宇佐八幡大神ノ神託ナリト稱シテ天位ヲ奪ハントス

天皇清磨ヲ宇佐ニ遣シテ親シク神語ヲ受ケシム清磨復リ奏シテ曰ク「我國君臣ノ分定マル大逆ノ者ハ速ニ誅スベシ是レ神語ナリ」ト道鏡大ニ怒リ清磨ヲ大隅ノ國ニ流ス後道鏡ハ下野國ニ流サレ清磨ハ召シ還サレタリ

〔一二〕 坂上田村麿

紀元一千四百年代

桓武天皇
京都

桓武天皇ノ時都ヲ今ノ京都ニ定メ永ク帝都トナシ給ヘリ此時東北ノ蝦夷數叛キシカバ天皇田村麿ヲ大將軍トシ

テ之ヲ討タシメ給フ田村麿勇武ニシテ威恩並ビ行ハレ蝦夷ヲ平ゲテ永ク其憂ヲ除ケリ

〔一三〕 僧最澄 (傳教大師)

紀元一千四百年代

比叡山
最澄ハ支那ニ渡リテ佛法ヲ學ビ歸リテ近江國比叡山ヲ開キテ延歷寺ヲ建テ大ニ佛教ヲ盛ニセリ

〔一四〕 僧空海 (弘法大師)

紀元一千四百年代

高野山
空海ハ支那ニ留學シ歸リテ諸國ヲ巡リ佛教ヲ弘メ組伊國高野山ヲ開キテ金剛峰寺ヲ建テタリ
空海ハ博學ニシテ特ニ書ニ巧ナリいろは歌モ此人ノ作

いろは歌

ナリト云フ

〔一五〕 菅原道眞

（天滿天神北野神社 山城國 紀元一千五百年代）

藤原氏 時平

宇多天皇

藤原氏ハ其祖錄足ノ功ニヨリテ子孫代々勢力ヲ得テ漸々朝政ヲ專ニスルニ至レリ
菅原道眞ハ賢明ニシテ博學ナリ宇多天皇藤原氏ヲ抑ヘント欲シ道眞ヲ用非テ藤原時平ト共ニ政ヲ執ラシメ給ヘリ

醍醐天皇

大宰府

天皇位ヲ醍醐天皇ニ讓リ給ヒ益道眞ヲ重ク用非ントシ給フニ及ビ時平之ヲ嫉ミ遂ニ讒シテ道眞ヲ筑前太宰府ニ流ス

道眞少シモ君ヲ怨ムユトナク曾テ賜ハリタル御衣ヲ拜シテ天皇ヲ慕ヒ奉レリ
醍醐天皇ハ寒夜ニ御衣ヲ脱キテ人民ノ寒苦ヲ思ヒ給ヒシ仁君ナリ

〔一六〕 平將門 藤原純友

紀元一千六百年代

天慶ノ亂

平將門 藤原純友

平貞盛 藤原純友

平將門藤原氏ノ政ヲ專ラニスルヲ嫉ミ下総國ニ據リテ亂ヲナシ近國ヲ攻ム平貞盛藤原秀郷ト共ニ討ケテ之ヲ誅セリ
藤原純友モ將門ト心ヲ協セテ兵ヲ四國ニ擧ゲタレトモ尋テ平ゲリ

世ニ之ヲ天慶ノ亂ト云フ

〔一七〕 源義家

紀元一千七百年代

前九年ノ役
安陪賴時
子 貞任
子 宗任

安陪賴時其子貞任宗任ト共ニ亂ヲ陸奥ニ起ス源賴義其子義家ト共ニ討テ九年ヲ經テ平ヲク之ヲ前九年ノ役ト云フ

〔源賴義〕
子 義家
後三年ノ役
清原武衡

〔一八〕 平清盛 重盛

紀元一千八百年代

保元ノ亂

崇徳上皇後白河天皇ト不和ニシテ源爲義其子爲朝等ヲ

崇徳上皇
子 爲朝

後白河
天皇
平清盛

藤原信賴
源義朝

召シテ兵ヲ起シ給ヒシカバ天皇モ亦爲義ノ子義朝平清盛等ヲ召シテ上皇ノ軍ヲ攻メ遂ニ上皇ヲ讃岐國ニ移シ給ヘリ之ヲ保元ノ亂ト云フ

其後藤原信賴源義朝ト共ニ平氏ヲ亡サンコトヲ謀リ清盛ノ爲メニ敗ラル之ヲ平治ノ亂ト云フ

清盛戰功ニヨリテ藤原氏ニ代リ政ヲ執リ暴威ヲ振ヘリ其子重盛忠孝ノ志深ク數父ヲ諫メテ其惡行ヲ止メタリト雖モ重盛ノ死後清盛遂ニ後白河上皇ヲ幽スルニ至レリ

〔一九〕 源賴朝 義經

紀元一千八百年代

源賴政以仁王ヲ奉シテ平氏ヲ討テ敗レテ宇治ニ死セリ

源賴政
以仁王

富士川ノ戰

源義朝ノ子賴朝伊豆ニ起リ平軍ヲ富士川ニ敗ル清盛大ニ怒リ遂ニ病ミテ死ス

源義仲

平宗盛

源義仲ハ木曾ニ起リ平軍ヲ敗リテ京都ニ入レリ清盛ノ子宗盛大ニ懼レ安德天皇ヲ奉シテ讚岐國屋嶋ニ走ル義仲將軍トナリ京都ニ在リテ暴行ヲ爲セシカバ賴朝二弟範賴、義經ヲ遣ハシ討テ之ヲ殺ス

福原攻

檀浦ノ戰

此時平氏ハ攝津國福原ニ在リケレハ範賴、義經東西ヨリ之ヲ攻メ遂フテ長門國壇浦ニ到リ大ニ海上ニ戰ヒ遂ニ平氏ヲ亡ホス

幕府

賴朝征夷大將軍ニ任ゼラレ幕府ヲ相模國鎌倉ニ開キ天下ノ政治ヲ執レリ

年代一覽

神代

天照大神天孫ヲ日向ニ降シテ西國ヲ治メシメ給ヒシヨリ三代ノ間九州ニ都シ給フト雖モ當時ハ全國未タ開ケズシテ土蜘蛛ト云ヘル土人等ハ土穴ニ住ミ粗末ナル石器土器ヲ用ヰルニ過キザリシナリ

紀元元年

神武天皇東征シテ大和ニ都シ給ヒシヨリ國モ漸ク開ケテ天下久シク太平ナリ

五百年代

崇神天皇ハ將軍ヲ諸國ニ遣ハシテ教化ヲ敷キ又戸籍ノ法、年貢ノ法等ヲ定メ給ヒ國勢益盛ニナレリ

六百年代

垂仁天皇ハ天照大神宮ヲ伊勢ニ祀リ給ヒテ神祇ヲ崇メ給ヘリ

七百年代

東國ノ蝦夷西國ノ熊襲等亂ヲ爲シケレハ日本武尊之ヲ平ケ給ヒテ國土大ニ開ケタリ

八百年代

神功皇后三韓ヲ征服シ給ヒシヨリ韓人モ多ク來リテ我國ノ開化ヲ進メタリ

九百年代

王仁來リテヨリ文學大ニ興リ工藝モ亦盛ニナレリ
仁徳天皇ハ難波(今ノ大坂)ニ都シ人民ヲ愛シ給ヒシカハ人民益皇室ヲ慕ヘリ

一千年代

諸國ニ史官ヲ置キテ通信ヲ開ケリ

一千一百年代

雄略天皇ハ大ニ養蠶、工業ヲ勸メテ民業ヲ盛ニシ給ヘリ

一千二百年代

佛敎入り來リ蘇我氏之ヲ信シ物部氏ヲ亡シテ政ヲ專ラニセリ
聖徳太子ハ佛法ヲ盛ニシ又朝廷ノ法度ヲ定メ給ヘリ
推古天皇支那ニ使ヲ遣ハシテ交ヲ結ビ給ヒシヨリ國人多ク彼國ニ往來シテ文學技藝ヲ傳ヘ我國ノ風俗大ニ改メレリ

一千三百年代

中大兄王、蘇我氏ヲ亡シ給ヒテヨリ孝徳天皇ハ大ニ政事ヲ改メテ大化ノ年號ヲ用井給ヒテ天智天皇ハ學校ヲ興シ禮儀ヲ定メ給ヒテ朝廷益榮ヘリ

元明^{ダイメイ}天皇都ヲ大和ノ奈良ニ遷シ給ヒシヨリ文學佛法益盛ニシテ大佛等モ此時ニ建テラレタリ

一千四百年代

清磨^{セイモ}道鏡^{ドウキョウ}ヲ挫^{クサ}キテ天位ヲ安ンズ桓武天皇都ヲ京都ニ遷シ給ヒ又夷輟^{ヒヤク}ヲ平ゲテ天下ヲ安シ給ヘリ傳教弘法等ノ名僧出テ、佛教ヲ盛ニセリ

一千五百年代

藤原氏代々權ヲ專ラニシテ道眞^{ミチマコ}ヲ昭セリ

一千六百年代

天慶ノ亂アリ又諸國ニ盜賊多シ京都ハ藤原氏盛ニシテ學問ヲ弄ビ紫式部^{ムラサキシキブ}等ノ才女出デタリ

一千七百年代

東北諸國亂レテ前九年、後三年ノ役アリ源氏漸ク勢ヲ得タリ後三條天皇藤原氏ヲ抑ヘ政ヲ親ラシテ奢ヲ禁シ斗升ノ法ヲ定メ給ヘリ

一千八百年代

朝廷ノ内治マラズシテ保元ノ亂アリ藤原氏漸ク勢ヲ失ヒ源平二氏權ヲ争フテ平治ノ亂アリ平氏藤原氏ニ代リテ政權ヲ握リシニ頼朝起リテ平氏ヲ亡シ遂ニ武人政治ノ基ヲナセリ

明治二十七年一月廿五日印刷
明治二十七年二月一日出版

非賣品

編纂人

兵庫縣赤穂郡赤穂町之内加里屋町
四百三十七番屋敷
岩崎申吉

發行者

兵庫縣赤穂郡赤穂町之内加里屋町
百七十七番屋敷
豐岡與一

印刷人

兵庫縣赤穂郡赤穂町之内加里屋町
七十壹番屋敷
岡本龜太郎



149